



ガラスコーティング 使用方法



STEP 1 ボディーをきれいに洗車

コーティング剤の塗布前に、洗車用シャンプーなどで汚れをしっかりと洗い落とします。



STEP 2 ボディーを乾燥

付属または用意したタオルで車の水分を十分に拭き上げます。



STEP 3 溶剤の塗り込み

塗布クロスにコーティング溶剤を適量取りボディーに薄く塗り広げて下さい。

ガラスコーティング剤を塗布する際には20cm~40cm四方でコーティング剤を塗り込んでいき綺麗なマイクロファイバークロスで拭き上げていきます。

広範囲塗り広げると拭き取る前に効果が始まり拭き取れなくなります。



STEP 4 コーティング完了

コーティング施工後は、完全硬化するまでにボディーにコーティングムラ等がないか照明や太陽光を利用し確認して下さい。

万が一塗りムラや拭きムラ拭き残しがあった場合は直ぐに拭き取って下さい。



施工のポイント



✓ 「炎天下での施工を避ける」

暑い日差しや埃の少ない屋内での施工がお勧めです。塗布クロスや拭き取りクロスに付着したコーティング溶剤もクロス上で硬化します。施工途中新しい物に交換する事をお勧めします。

✓ 「施工後は最低1時間は乾燥させる」

乾燥するまでは無闇に触ったり水を掛けないでください。手の油や水分が付着すると乾燥時の化学変化の妨げになり、撥水性能が悪くなったり耐久性・艶に影響があります。

✓ 「適量で塗る」

粘性が高く塗り伸ばしやすいので 極端に大量に塗らないなくてもワンボックスクラスでも十分足ります。沢山塗っても効果は同じで逆に拭き取り時にコーティング溶剤が延び 拭き取り出来ずムラになります。

✓ 「重ね塗り」

重ね塗りをすることで更にボディの輝きが増します。既に他社製品をご利用の場合、一度コーティングを落としてからのご使用をおすすめします。

✓ 「クロスのリ利用は不可」

コーティング後、塗り込みや拭き取りしたクロスはコーティング溶剤がクロスごと硬化しますので再利用は不可です。再利用すると傷の原因となります。